

自動運転社会を見据えた「安全で最適な走行ルート」の実現に向けた共創取組を開始

2020年3月23日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉恭三、以下 あいおいニッセイ同和損保）と、株式会社オプティマインド（代表取締役社長：松下 健、以下 オプティマインド）はこの度、将来の自動運転社会を見据え、あらたなモビリティサービス（MaaS）の普及をサポートするため、「安全で最適な走行ルート」の実現に向けた共創取組を開始し業務提携契約を締結いたしましたので、お知らせします。

1. 背景

モビリティ分野においても IoT や AI に関する技術を活用した様々な製品・サービスがリリースされています。そのような中、あいおいニッセイ同和損保はテレマティクス自動車保険のパイオニアとして、2018年4月より日本で初めてドライバーの運転データをもとに運転特性を保険料に反映した自動車保険を発売しました。以降、お客さまの安全運転を促進するための様々な商品・サービスを展開し、クルマから取得されるデータを活用した保険商品・サービスや安全運転促進に関する当社独自のノウハウを保有しています。また、自動運転社会を見据えて「CASE・MaaS」に対応した商品・サービスの研究・検討を進めています。

オプティマインドは、「世界のラストワンマイルを最適化する」を企業理念に、ラストワンマイルの配送ルート最適化を目的とした「Loogia[※]」を提供し、配送業務の効率化へ貢献しており、ラストワンマイルならではの制約条件を加味したアルゴリズム、地図ネットワークの分析・加工やビッグデータの学習モデル構築について独自のノウハウを保有しています。

この度、両社は将来の自動運転社会を見据えて、上記の特長を活かした共創取組により自動車の走行環境に関する安全性や、安全性を踏まえた最適な走行ルートに関する新たなノウハウを構築することで両社の特長を進化させることが可能と考え、業務提携契約を締結することとしました。

※ Loogia とはオプティマインドが展開するラストワンマイルのルート最適化クラウドサービスです。配送情報を入力すると、AI が 30 以上の現場制約を考慮しながら数分で最適なルートを計算し、配送業務の効率化を実現します。また、実走データを GPS 等から取り込み学習させることで、より精度の高いルートの算出や、ベテランドライバーのノウハウの共有を可能とします。

2. 概要

両社は、あいおいニッセイ同和損保が保有するテレマティクス自動車保険のデータを活用し、Loogia に危険挙動発生多発地点や事故発生多発地点の情報を組み込むことで、オプティマインドのルート最適化ノウハウに安全性の観点強化する研究を進めていきます。同研究により、あいおいニッセイ同和損保は自動運転社会を見据え、自動車の走行環境に関する安全性の評価や、安全性を踏まえたルート最適化技術を活かした保険商品・サービスに関する研究を実施します。オプティマインドは Loogia の精度向上に取り組み、サービス導入企業が安全に配送できる「安全で最適なラストワンマイル配送ルートの提案」をさらに強化いたします。また、同研究を通じて親和性が高まる両社のビジネス上の連携についても具体検討を行い、相乗効果の発揮を目指します。

さらに、両社は、自動運転社会や MaaS の普及を見据えて、安全で最適な走行ルートの研究を中長期的に共同で取り組み続けます。今回の業務提携を通じて、これまで以上に「安全・安心で快適なモビリティ社会」へ貢献していくことを目指します。

【イメージ図】



以上